

47 食品産業省力化投資促進緊急対策事業

令和7年度補正予算額 300百万円

<対策のポイント>

食品産業の省力化投資を促進するため、食品製造業の省力化モデルとなる新技術の導入を支援するとともに、食品事業者が協調して実施する共同プロジェクトを支援します。また、中小事業者が多い飲食業において、労働生産性向上に向けた伴走支援や「労働生産性モデル」の形成・横展開を図る取組を支援します。

<事業目標>

- 食品製造業の労働生産性向上（24%〔令和11年度まで〕）
- 飲食業の労働生産性向上（35%〔令和11年度まで〕）

<事業の内容>

1. 省力化技術導入支援事業 140百万円

業界内の省力化をモデルとして牽引していくことが見込まれる食品製造事業者に対して、省力化に必要不可欠な新技術（AI、ロボット等を活用した機械設備）の導入等を支援します。

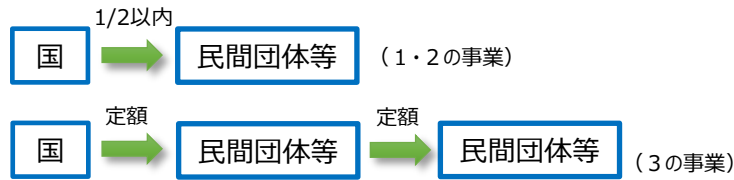
2. 業種横断型プロジェクト実証支援事業 90百万円

複数の企業間で連携した体制を構築している食品事業者等に対して、業界共通の技術的な課題となっている特定テーマ（生産設備データの標準化等）についての業種横断的なプロジェクトを実施する際に、当該プロジェクトの実証に必要な経費を支援します。

3. 飲食業労働生産性向上推進緊急対策事業 70百万円

中小の飲食事業者における省力化を図るとともに、労働生産性向上や賃金アップ、社会的責任の遂行等の具体的な取組を示す「飲食業労働生産性向上モデル」を業態別・事業者規模別に形成するために必要となる専門家による伴走支援や、システム・サービス等の導入経費等を支援します。また、広く飲食事業者における労働生産性向上の取組を広めるための横展開を実施します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

1. 省力化技術導入支援事業

対象

業界の省力化をモデルとして牽引する食品製造事業者

「省力化実行計画」を策定

- 省力化投資の定量的目標
- 人材育成
- 外部支援機関との連携
- 業界内の横展開等の事項を記載

計画に基づき、最新技術（AI、ロボット等）を導入し省力化

食品事業者

↓

食品製造事業者

→ モデル事例として食品業界全体へ成果を横展開

2. 業種横断型プロジェクト実証支援事業

対象

複数の企業間で連携した体制を構築している食品事業者等

食品事業者

↓

業種横断型プロジェクト

↓

食品製造事業者

「業種横断型プロジェクト」を策定

- 業種共通の特定テーマについて、業種横断的な課題解決プロジェクトを実施

特定技術に優位性を持つスタートアップ

↓

システムインテグレーター

→ モデル事例として食品業界全体へ成果を横展開

3. 飲食業労働生産性向上推進緊急対策事業

対象

他の事業者のモデルとなり得る飲食事業者

飲食事業者

↓

飲食事業者

「労働生産性モデル」を形成

- 労働生産性向上に向けた取組
- 賃金アップや労働環境の改善
- 社会的責任（環境対応・障害者支援等）の遂行等の業態・規模別モデルの形成

→ モデルを飲食業界全体へ横展開

（例）※機器等導入はリースに限る。

調理ロボット

モバイルオーダー・セルフレジ

在庫・販売管理システム

【お問い合わせ先】
(1、2の事業)大臣官房新事業・食品産業部 食品製造課 (03-6744-2089)
(3の事業) 外食・食文化課 (03-6744-2053)